

白嶺高校文化祭で自衛隊活動紹介 卒業生の女性隊員も広報活動で大活躍！



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）高田地域事務所（所長 2陸尉 古川敏廣）は、11月2日（土）県立糸魚川白嶺高校が実施する「白嶺祭」を支援するとともに自衛隊広報活動を行いました。

これは、同校教頭先生より「文化祭の中で自衛隊の活動や救急法などを生徒に紹介してほしい。」との依頼から始まったもので、昨年に続き今回で2回目。

当日は災害派遣で活躍する車両として、第2普通科連隊による「3・1/2tトラック」「野外炊具1号」「1t水タンクトレーラ」が展示され、学校長をはじめ多くの学校関係者や生徒が見学に訪れました。訪れた生徒からは「一度にどれ位の食事が準備できますか？」などの質問があり、皆が興味深く見学していました。



体育館では自衛隊の活動を紹介するパネル展示の他、衛生隊員によるAEDの取り扱いや、タオル等を利用した止血法を体験するブースも設けられ、生徒に混じって多くの先生も見学に訪れました。救急法を体験した先生からは「災害時だけでなく、日常でも役に立つ知識でありとても勉強になった。」との声も聞かれました。



また、ハイスクールリクレーターとして、「第317基地通信中隊高田派遣隊」から同校出身の池田夏諸（なつお）1陸士も募集広報に参加し、パネルを前に自衛隊の魅力や生活環境、休日のことなども丁寧に紹介しました。中には、お世話になった先生や顔見知りの生徒も訪れ、昔話でも談笑する場面もみられ、自衛隊のPRとともに親近感の醸成にも大きく活躍しました。



新潟地本は、今後も学校イベント等に積極的に参加し、先生や生徒との信頼関係を深め、自衛隊を魅力ある職業として考えてもらえるようアピールしていきます。